

【組合の概要】

全千葉警備業協同組合は、幕張メッセが平成元年に施設開業したことに伴いスポット警備の社会的ニーズの高まりを受けて、平成4年3月に設立された。業界団体である社団法人千葉警備業協会が母体となっており、当協会の会員で2社以上の推薦により7ブロックから組合員が参加しているため全千葉の名称を冠している。事業は警備業務の共同受注及び幹旋、事務代行、警備用装備品の共同購入、リース、教育情報事業等を実施している。

【理事長会社概要】

株式会社日警保安は、池田隆夫理事長が昭和61年7月に創業した警備保障会社である。池田理事長は茨城県真壁町(筑波山の裏側の町)の出身。高校を卒業後茨城県内の醸造メーカー勤務を経て、昭和44年日本警備保障(株)(現セコム)千葉支社へ入社、その後千葉県内2つの警備会社を経験の後に独立した。今年が創業22年目である。

創業当初の千葉県内の業者数は90社程度であったが、現在では267社と3倍に増加しているとのことである。警備業には種類があり、①施設警備②交通警備③輸送警備④身辺

全千葉警備業協同組合

池田隆夫理事長



◎いけだ・たかお 昭和42年茨城県立真壁高校卒業、日本警備保障(株)他警備会社数社経験の後、昭和61年(株)日警保安を設立し、代表取締役就任。平成14年全千葉警備業協同組合代表理事就任。現在に至る。本会理事。58歳。

時代のニーズに応える安心安全 心のサービス

警備⑤機械警備の5つに分けることができる。このうち当社は、施設警備を中心に事業を行っている。道路工事や建設現場で行う交通警備は設立当初かなりのウエイトを占めていたが、将来の安定経営及び固定施設業務の面から不利であるため、12年の歳月を掛けてこの業務を5%以下にしてき

全千葉警備業協同組合

所在地 千葉市花見川区さつきが丘2-19-15
代表者 池田隆夫
組合員数 13名 出資金 6200万円
職員数 2名

たとのことである。主な取引先は、イトーヨーカドーグループ、イオングループ等の大型ショッピングセンターをはじめとする施設からJRや学校、官公庁、ホテルなどがある。現在、千葉にある本社のほか事業所が東京、埼玉、神奈川、茨城にもあり営業の範囲は1都4県にも及ぶ。従業員は、正社員、期間社員を含めて815名、年間売上は22億円強。産業構造が大きく変化し、サー

ビス業の時代といわれて久しい。警備業は成長産業の一つということが出来る。しかし、業界団体のデータによると一業者あたり年間平均売上は、約3億7千万円、過半数が売上高5千万円以下、また警備員数でいうと百人未満が約84%を占めているという状況にあって、当社は優良企業である。

特に座右の銘はないと仰る池田理事長だが、人材養成にはかなり力を入れており、取材当日も3階の研修室で社員研修が行われていた。本社の他に東京や埼玉でも社員研修を行っている。また、警備業のみならず、人材派遣会社も経営しており、高齢者の採用についても積極的である。常に顧客のニーズを捉え、高齢化社会のニーズに応える。時代の要請に応え、社会へ貢献している企業は成長すると感じる。

【池田理事長の横顔】

趣味についてお尋ねしたところ、温泉めぐりとのこと。警備業という仕事柄会社は年中無休で、長期間の休暇は取れず、長くても2泊3日程度だそう。中央会の全国大会には毎年参加頂いており、今年も宮城県で実施するので全国大会ツアーに温泉宿が求められるところである。